

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	狂犬病予防対策	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康部保健所	部	動物指導センター	課 評価責任者(課長名)
					木村

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	狂犬病予防法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	狂犬病は、全ての哺乳動物に感染し、発症すると治療法がないため、発症後の致死率がほぼ100%の感染症である。感染経路は、発症した動物に咬まれ、傷口から体内にウイルスが侵入する。昭和25年に狂犬病予防法が制定され、飼い犬の登録、狂犬病の予防注射の実施及び野犬の捕獲を実施したことで、現在わが国は、昭和32年以降国内発生はなく、狂犬病清浄国とされているが、東南アジア地域や中国、ロシアなど日本周辺国では、流行しており、それら地域から来た貨物船に乗っている犬の不法上陸が全国の港湾で発生している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (動物指導センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内で飼育されている全ての飼い犬及びその所有者、全市民		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し、また、犬による危害及び環境の汚染を防止することにより、公衆衛生の向上及び市民生活の安全に資する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input type="checkbox"/> 狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録、毎年の予防接種実施と済票の交付及びその管理にかかる一連の業務・登録(鑑札交付)と予防注射済票交付事務・飼い犬台帳(登録と狂犬病予防注射実施記録)管理 <input type="checkbox"/> 集合注射の計画・実施、飼い主への通知・登録と予防注射実施率向上のための啓発 <input type="checkbox"/> 放浪犬の保護収容等の犬管理業務 <input type="checkbox"/> 捕獲(保護)、抑留・返還・返還時の狂犬病予防注射実施・咬傷犬の鑑定 <input type="checkbox"/> 飼い犬の適正管理の指導・啓発		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 委託を希望する市内の動物病院、総合メンテナンス大志、NECネクサソリューションズ(株)関西支社、JS関西(株)、協和印刷(株)、宏和印刷(株)			

Ⅲ. 投入量

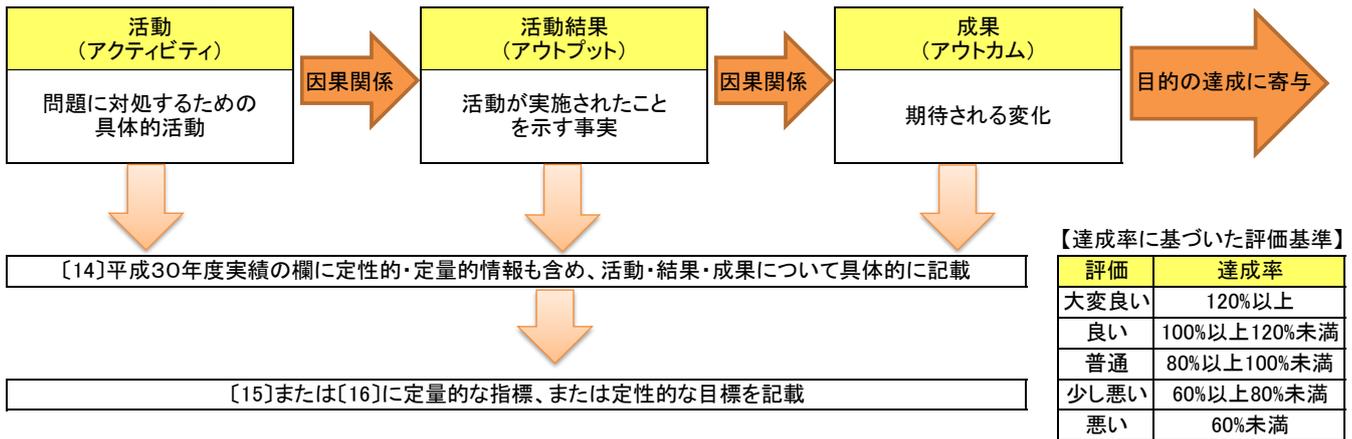
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	18,353	18,368	19,176	28,108	
主な事業費内訳	委託料(鑑札・済票交付、システム保守等)	千円	11,019	11,812	12,891	20,703
	消耗品費	千円	1,022	1,021	956	1,021
	印刷製本費	千円	231	242	190	312
	通信運搬費	千円	3,038	3,164	2,967	3,144
	国・府支出金	千円				
	財源内訳					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	3,443	3,316	3,346	3,441
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	14,910	15,052	15,830	24,667	
12 人件費 (b)	千円	9,840	11,480	10,070	9,990	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	28,193	29,848	29,246	38,098	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	狂犬病予防対策	シート番号	11-239
-------	---------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績									
活動実績と成果	14	<p>狂犬病予防法では狂犬病の発生を予防するため、犬の飼い主は、生後91日以上の子犬に生涯1回の登録と毎年1回、狂犬病予防注射を受け、鑑札と注射済票を犬の首輪等に付ける義務があります。登録した犬の飼い主には毎年3月末に狂犬病予防注射のお知らせを送付し、狂犬病予防注射の実施を推進しています。</p> <p>4月には堺市獣医師会協力のもと市内24カ所集合注射を実施しましたが、市としては安全性・利便性・衛生管理の観点から動物病院での個別注射の実施を推進しています。</p> <p>平成30年度の市内登録犬に対し、狂犬病予防注射済票を25,974件交付し、前年度に比べて138件減少しました。</p> <p>平成30年度に動物病院で注射が実施された犬は91.6%で前年とほぼ同様でした。</p> <p>また、平成30年度の新規登録数は2,577頭で、飼い犬登録数は41,755頭となり、前年比532頭増加しました。</p> <p>飼い犬登録台帳では、犬の登録情報や狂犬病予防注射実施履歴、飼い犬の死亡、所在地の変更などの各種届出について保管しています。</p> <p>平成30年度に保護収容した放浪犬は10頭でした。狂犬病予防法に基づき抑留した放浪犬は、収容した翌日から2日間(土日祝日を除く)センターの掲示板で公告しています。収容後、飼い主が現れたときは返還を行っています。</p> <p>なお、平成30年度、収容犬の返還率は33.3%(7/21)でした。</p> <p>また、犬の返還に際して未登録や狂犬病予防注射未実施の場合には、登録と狂犬病予防注射を行うとともに、飼い主に法令を遵守するように指導しています。</p> <p>平成30年度に取り扱った飼い犬による人への咬傷届出数は8件で、再発防止の指導を実施しました。</p> <p>また、飼い犬の適正管理に関する業務として犬に関するもの66件あり、飼い主に指導及び啓発を実施しました。</p>							
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			狂犬病予防注射実施率	%	目標値	70	70	70	70
					実績値	65	63	62	
					達成率	93%	90%	89%	
		評価			普通	普通	普通		
		算出方法・設定根拠など		狂犬病予防注射済票交付数/飼い犬登録頭数					
		16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
					目標値				
					実績値				
達成率									
評価									
算出方法・設定根拠など									

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	登録及び狂犬病予防注射推進のため、市民及び飼い主に対し適宜啓発を行い、動物病院への鑑札済票交付手続きの委託事業も拡げた結果、一定の成果を得ることはできたと考える。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。